

ユーラシアンホットライン

愛川町とロシア連邦サハ共和国との交流は 6 年目。今年から年二回（春と夏）、子どもたちを受入れ

ー3 月 29 日来日、4 月 3 日に国際演奏交流春祭りを開催し、4 月 5 日に成田経由で帰国ー

大野 遼

2010 年から始まったサハ共和国の太鼓を初めとする伝統音楽再生の為、サハの子どもたちに和太鼓を研修するテティム研修団受け入れは、6 年目を迎えて、子どもたちを指導するハトラエフ夫妻は、年二回、愛川町に子どもたちを派遣することを決めた。ロシア連邦の急激な経済危機でルーブル安（昨年の 1 ドル 40 ルーブルから 65 ルーブルへと為替変動）にもかかわらず、伝統音楽再生と子どもたちの指導に対する夫妻の情熱に、子どもたちの親たちが賛同し、交流は続くことになった。

また、昨年夏には、女子ばかりの研修グループ「キース・ホトン」も来日し、日本のプロの女子和太鼓集団「悟空」のコンサートに参加し、驚愕の演奏を披露して、感動を与えたが、今年は、「悟空」の指導者浅野香さんをサハ共和国に招き、女子への指導を依頼してきているほか、子どもたちの親の間にも、「太鼓ブーム」が起きており、愛川高校和太鼓部の創設者赤川猛さんをサハ共和国に招き、親たちに和太鼓研修を実施することになった。5 月の連休を利用して実施される。

子どもたちは 3 月 29 日に成田着。バスで愛川町に直行し、愛川町で社会福祉ボランティアを行なう三井良子さん及び友人の国久頼子（ひでこ）さんの自宅にホームステイすることになっている。30、31、4 月 1、2 日と 4 日間研修を行った後、4 月 3 日、愛川町農村環境改善センターを利用して、町内外で和太鼓愛好グループと一緒に、国際太鼓演奏交流を行う。

愛川町での子どもたちの受け入れ、和太鼓研修は、サハ共和国で大変よく知られているが、愛川町での取り組みは大幅遅れており、改善が必要だ。6 年前、十数人で始まったテティムの団員は、現在 160 人を超える規模に成長、サハ共和国全土からテティムへの参加希望が殺到しているという。今回春の研修派遣は、こうしたサハにおける伝統音楽再生の盛り上がりを反映している。

下記写真は、29 日来日し、愛川町で和太鼓研修を行うテティムメンバーとハトラエフ夫妻。



【「岩に刻まれた古代美術 アムール川の少数民族の聖地シカチ・アリヤン」展の開催準備進む】

今年、5 月 21 日に大阪の国立民族学博物館で、ロシア連邦ハバロフスク地方シカチ・アリヤン村と村外れのアムール川右岸岸辺に展開する 150 点ほどの岩絵を中心とした「アムール川の古代絵画―先住少数民族の聖地シカチ・アリヤン」展のオープニング式典が開催されます。国立民族学博物館では 7 月 21 日まで展覧会は開催され、式典にはシカチ・アリヤン村のニーナ村長、シカチ・アリヤン村中等学校の教諭でユーラシアンクラブ会員、昨年発足した村の NPO「メデ」の代表ビクトリア・ドンカンさんらが訪れる。その後、開催予定館・時期は、新潟県立歴史博物館 2015 年 9 月 19 日～10 月 25 日 横浜ユーラシア文化館 2015 年 10 月 31 日～1 月 と予定されています。現在北海道での開催も調整中です。展覧会に際し

て頒布する解説図録の冊子は 120 ページほどで、骨格はほぼできあがり、最後の調整に入っている。ロシア連邦ハバロフスク地方シカチ・アリヤン村のアムール川岸に存在する 150 点余りの岩絵を中心に、先住民族ナナイの文化や暮らしを紹介する予定で、年が明けると、展示解説や動画の作成その他作業が控えています。下の写真は、冊子「アムール川の古代絵画 先住少数民族の聖地シカチ・アリヤン村」展の表紙です。私はこの冊子の冒頭、シカチ・アリヤン村の岩絵と伝承を世界遺産に登録することを呼びかけています。共同通信社の後援も決まり、展覧会開催について報道をしていただくことになりました。



【寄付・協賛のお願い】―第一期申込期限は 3 月一杯―

今後開催される展覧会の会場に、シカチ・アリヤン村の子どもアンサンブルや芸術家、展覧会開催のパートナーを招へいし、展覧会においてになる皆さんにシカチ・アリヤン村の特色ある歴史文化や暮らしを発信し、展覧会を成功させたいと心から希望しています。つきましては、展覧会開催の為、第一回目の開催となる大阪府吹田市の国立民族学博物館で 5 月 21 日に開催されるオープニングに、子どもアンサンブル「アイシマ」の代表 6 人を含む村の代表ら 10 人を招へいする為 200 万円及び展示品を、最後の開催館から民博に返却するための費用 100 万円、ユーラシアンクラブのスタッフが開

相愛信用組合中津支店 普通 0128190 NPO ユーラシアンクラブ愛川サライ 代表大野遼

【はじめに】 NPO ユーラシアンクラブ 会長 大野 遼

今回の展覧会は、私が、1993 年 2 月、シカチ・アリヤン村の村民代表らと日本に招き NPO ユーラシアンクラブを創設し、北方ユーラシア学会の副理事長・事務局長をして最後の仕事として、同年初、アムール川の岸辺に展開する古代絵画である岩画（え）の拓本を採取し、一帯の古代絵画の調査をしたのが発端となっている。今から 22 年前のことだった。アムールのさざ波に導かれ、洪水で水没することもある悪環境の中で、いにしえの人々の手になる岩画（え）が長く今日まで残ったものだと思う。この岩画（え）を、シカチ・アリヤン村の人々は、射日神話の物語に位置づけ、生命樹で地上と天界を行き来するシャーマンの世界観と関連付けている。極東の古代環日本海交流の表徴となっているカーシャ遺跡の土器（BC13000 年）が発見され、つい最近までシカチ・アリヤン村の母村集落があったガルブ・ガジャーン岬（集落）の下にある、岩画（え）群、「石のシャーマン」（ジョロ・ママ）と今日まで継承された神話と伝承、アムール流域で自然と共生した暮らし。アムールの岸辺に広がる丘陵のシカチ・アリヤン村の暮らしは、古代アジアの神話を秘めた歴史文化のタイムカプセルのような。私は、この村の暮らしと文化、岩画（え）が一体のものとして世界遺産に登録されることを強く希冀している。多くの人が一度ならずこの村を訪ね、素晴らしい村民と交流し、アジア史の奥深さに触れて欲しい。

世界遺産申請登録の根拠

その 1

シカチ・アリヤン村の西側に位置する「ガルブ・ガジャーン」と呼ばれた岬（集落）の下に展開するアムール川の右岸岸辺の安山岩に刻まれた岩画（え）150 点と「ジョロ・ママ」（石になったシャーマン）は、射日神話、生命樹、世界樹、兄妹創世神話、シャーマンの起源、天神（エンムツリ）信仰、龍（ムツリ）信仰、火神（ボジャ）信仰、水神（テム）信仰など、アムール河に寄り添って暮らしていた「ナナイ」（昔から住んでいた土地の人の意味）の世界観、精神文化（伝承）を誕生させた聖地である。

その 2

ロシア連邦極東地域の大都市ハバロフスクからアムール下流 70 ㎞の、アムール川岸に位置し、ハバロフスク国際空港から車で 1 時間半。現代史を潜り抜けた先住少数民族村としては、「大都市と最も近い」「世界とつながった古代空間」になっており、岩画（え）等の保護、伝承文化の保存は急務となっている。

その 3

ヒブシサマール（氷河期以降の温暖化）以後の寒冷化乾燥化というグローバルな気候変動を通して始まった農耕・牧畜文化から誕生した国家形成の人類史を俯瞰する時、アムール河に寄り添って、魚も獣も「獲りすぎない」倫理観を有し、自然に寄り添って生きてきた暮らしの表徴である岩画（え）等や伝承文化を残すシカチ・アリヤン村は、人類にとって今必要、自然との共生、民族の共生を考える格好の産地＝エコ・カルチャーセンターとなっている。

シカチ・アリヤン村の岩画（え）等とナナイの伝承文化を世界遺産に登録しよう

「顕著な普遍的価値」を有する

【アジア・シルクロードウィーク実施準備進む】

アジア・シルクロード諸国の大使館と共催し、東京・日本橋の三越本店で一週間にわたって開催する「アジア・シルクロードウィーク」を開催する準備が進んでいます。

これまでに駐日アフガニスタン大使館、駐日キルギス共和国大使館、駐日ウズベキスタン大使館、駐日トルクメニスタン大使館、駐日カザフスタン大使館を訪問し、共催の同意を得ているほか、駐日タジキスタン大使館、駐日モンゴル国大使館も共催の見込みで、名橋日本橋保存会、シルクロードネットワークも含め、日本文化の基層を形成したアジア・シルクロードの国家民族の文化発信をしたい。

アフガニスタンは、アーリア人が南下しヒンズークシ山脈の南で、インド・アーリアとイラン・アーリアが分化し、ゾロアスターが善悪二元論の宗教を草創し、ホラーサーン（日出国）に人類の未来を仮託した土地である。アケメネス朝ペルシャ誕生の基礎となった地下水脈網（カレーズ/カナート）によって、牧畜民が国家を形成する基礎を形成された土地でもあった。その後、国家民族宗教の興亡の一大舞台となって、戦乱の渦中にある時期も長かったが、シュメールやエジプトまで交易品として流通したラピスラズリの産地を擁し、また青銅器の重要な原料錫の産地として、インダス文明のバックヤードとなったとみられる鉱石生産センターとして、現在世界的な注視を浴びるバクトリア・マルギアナ考古学複合と呼ばれる都市文明をトルクメニスタン、ウズベキスタンにかけて形成した。これを破壊したのがアーリア（インド・イランアーリアの文化以前）で、後にギリシャから中国を含む東アジア全体で活躍したソグド商人揺籃地となり、ウズベキスタンからタジキスタンにかけてソグディアナの足跡を残している。インドからネパー

ルで誕生した仏教は、ソグド人の国家クシャーン朝で大乘仏教となり、ウズベキスタン、タジキスタン、キルギスを経て、日本を含む東アジアの異邦人の国家の絆となった。鑑真和上を日本に届けたのはソグド人であった。人類史の曙光の時代に人々の交流・交易の表象となったラピスラズリに替わって、長江から四川にかけた地で発見された、太陽の木・桑の葉を

食べた蚕が吐き出した絹が、東西の交流のシンボルになった「ラピスラズリの道」から「シルクロード」への転換もソグド人の力による。大乘仏教はソグド人のイデオロギーであり、その後景にはゾロアスター教が透けて見える。ソグド人とトルコ人の混血であった安祿山の乱を潜り抜け、ソグド人に替わり東西交易の表舞台に躍り出たウィグル人と家族のような近い関係を築き、ユーラシアを席卷したモンゴル帝国は、東西の流動性を活性化してきた。近現代のアジアの文化の基層を築いてきた

歴史を留めているのがアジア・シルクロード諸国であり、今回の「アジア・シルクロードウィーク」はこうしたアジア・シルクロード諸国の大使館と共催して実施するシルクロードプロジェクトです。

これまでにアフガニスタン大使館、キルギス共和国大使館、ウズベキスタン大

使館、トルクメニスタン大使館、カザフスタン大使館、から共催の約束を頂いており、近くタジキスタン大使館、モンゴル国大使館とも共催の見込みです。

今後、経済産業省へ協力の申し入れを行う予定で、オリンピックまで継続するアジアと心と文化でつながる国際協働事業として実施する計画です。



＜バイオマス産業社会ネットワーク（BIN）第 147 回研究会のご案内＞

日 時：2015 年 4 月 7 日（火）18:30～20:30
 テーマ：「バイオマス等一次産品の持続可能な調達と企業の責任（仮題）」講演者：足立直樹氏（株式会社レスポンスアビリティ代表取締役）
 会 場：地球環境パートナーシッププラザ
 （東京都渋谷区神宮前 5-53-70 国連大学 1F）

地下鉄表参道駅より徒歩 5 分・JR 他渋谷駅より徒歩 10 分

<http://www.geoc.jp/access>

参加費：BIN 会員 無料、一般 1,000 円

※再生可能エネルギー電力買取制度（FIT）が開始され、全国 100 カ所以上でバイオマス発電事業の計画・建設・稼働が始まっています。これらの発電所で必要となるバイオマス資源は、600 万トンとも 1000 万トンとも言われ、そのかなりの部

分は輸入で賄われる見込みです。※バイオマスは廃棄物を除けば、森林や農地などで生産されるものであり、持続可能な方法で生産されなければ、森林破壊などをまねき、環境や社会に大きな問題が生じるおそれがあります。※近年、木材等一次産品の持続可能な調達に関して、米国のレイシー法、EU の木材法、森林認証制度、持続可能なパームオイルのための円卓会議（RSPO）など、次々に新たな取り組みが進んでいます。また、「森林破壊ゼロ」を宣言する企業も現れています。※日本の FIT による膨大なバイオマス市場の新たな出現に、国際的な注目が集まっており、林野庁や経済産業省も関心を高めています。※参加をご希望される方は、下記よりお申し込みください。

<http://www.npobin.net/apply/>

メディア・ユーラシア情報 ネットリサーチ

東京外国語大学「日本語で読む中東メディア」が注目 <http://www.tufs.ac.jp/common/prmeis/fs/> です。

【北アジア】

○ ロシア野党指導者ネムツォフ氏射殺される、元第 1 副首相
2015 年 02 月 28 日 10:36 JST

[27 日 ロイター] - ロシアの元第 1 副首相で野党指導者のボリス・ネムツォフ氏（55）が 27 日夜、モスクワ中心部の通りで何者かに射殺された。ロシア内務省によると、ネムツォフ氏は背中に 4 発の銃撃を受け死亡した。

<http://jp.reuters.com/article/worldNews/idJPKBNOLV2RC20150228>

○ 「実行犯」2 人拘束＝ネムツォフ氏暗殺事件－ロシア

2015 年 3 月 7 日(土)22 時 8 分

【モスクワ時事】ロシア連邦保安局（FSB）のボルトニコフ長官は 7 日、野党指導者のボリス・ネムツォフ元第 1 副首相（55）暗殺に関与した疑いで、男 2 人を同日拘束したと明らかにした。政府系テレビの第 1 チャンネルに語った。銃撃の実行役とされ、捜査当局は背後関係などを追及しているとみられる。

ボルトニコフ長官によれば、拘束されたのはロシア南部カフカス地方出身のアンゾル・クバシェフ、ザウル・ダダエフ両容疑者。プーチン大統領にも報告されたという。

インタファクス通信によると、捜査当局スポークスマンは容疑者 2 人について「（殺害の）計画・実行に関わった」との見方を示した。

治安当局筋は、犯行に使用された車が見つかったほか、防犯カメラに鮮明な映像が残っていたことや、通話記録などが拘束の決め手になったと説明した。殺害を指示した人物が国外に逃亡した可能性を含めて捜査しているという。

2 月 27 日夜にモスクワのクレムリン（大統領府）脇でネムツォフ氏が凶弾に倒れた事件は、発生 9 日目に事態が大きく動きだした。銃撃に政治的背景があるとの見方も強く、「黒幕」の存在など全容解明が課題となる。

<http://news.nifty.com/cs/world/worldalldetail/jiji-2015030700268/1.htm>

○ ロシア準備基金取り崩し、最大 500 億ドル＝財務次官

2015 年 02 月 28 日 01:15 JST

[モスクワ 27 日 ロイター] - ロシアのネステレンコ第一財務次官は 27 日、財政悪化に備えて積み立ててきた「準備基金」から 15 年中に最大 3 兆 2000 億ルーブル（523 億 6000 万ドル）取り崩すことを議会に要請する意向を明らかにした。

原油価格の下落と景気の低迷により財政赤字が膨らんでいる

ことに対応する。

このうち 5000 億ルーブルはすでに 2015 年予算に反映されている。準備基金からの流用額を拡大することで現在 850 億ドルの基金は 1 年で半分に以下に急減する可能性がある。

第一財務次官は最悪のシナリオでは基金が年末までに 1 兆ルーブルまで減少する可能性があるとの見方を示した。このケースでは基金の 8 割を 1 年間で使うことになる。

<http://jp.reuters.com/article/worldNews/idJPKBNOLV1A220150227>

○ ウクライナと戦争する公算小さい、決して望まず＝ロシア大統領
2015 年 02 月 24 日 07:19 JST

[モスクワ 23 日 ロイター] - ロシアのプーチン大統領は 23 日、同国とウクライナが戦争する公算は小さいとの考えを示した。国営テレビとのインタビューの抜粋が政府ウェブサイトに掲載された。

大統領は、ウクライナとロシアとの間で戦争が起これと予想するかと質問され、「そのような破滅的なシナリオは可能性が低く、決して起こらないことを望む」と回答した。

またウクライナ東部の停戦合意をめぐり、フランス、ドイツ、ウクライナを交えた 4 者会談を再び開催する必要はないとの考えを示した。

http://jp.reuters.com/article/topNews/idJPKBNOLR26220150223?feedType=RSS&feedName=topNews&utm_source=twitterfeed&utm_medium=twitter&utm_campaign=Feed%3A+reuters%2FJPTopNews+%28News+%2F+JP+%2F+Top+News%29&rpc=188

○ ウクライナ、1500 万ドルのガス代金を送金＝露エネルギー相
2015 年 02 月 27 日 17:30 JST

[クラスノヤルスク（ロシア） 27 日 ロイター] - ロシアのノバク・エネルギー相は 27 日、ウクライナが天然ガス代金として 1500 万ドルをロシアに送ったこと明らかにした。

数日前にロシアは、ウクライナのガス料金未払いを理由に供給を停止する可能性を示していた。

ノバク・エネルギー相は、ガスプロム（GAZP.MM：株価、企業情報、レポート）が間もなく代金を受け取るとウクライナから伝えられたことを明らかにした。

<http://jp.reuters.com/article/jpUkraine/idJPKBNOLVOPY20150227>

【西アジア】

○ 「イスラム国」覆面男は英国人、裕福な家庭出身の大卒者
2015 年 02 月 27 日 14:38 JST

[ロンドン／ワシントン 26 日 ロイター] - 日本人ジャーナリスト後藤健二さんらを殺害したとみられる過激派組織

「イスラム国」の黒い覆面姿の男、通称「ジハーディ・ジョン」の身元が、クウェート出身の英国人モハメド・エンワジ容疑者であることが分かった。ロンドンの裕福な家庭で育ち、大学ではコンピュータープログラムを学んだという。年齢は 26 歳とされる。

黒覆面の「ジハーディ・ジョン」は昨年夏以降、イスラム国が人質を殺害したとする映像に何度も登場し、英国特有のアクセントで話していた。

エンワジ容疑者の名前を最初に報じたのは米ワシントン・ポスト紙。その後、米当局者 2 人が匿名を条件にロイターに対し、捜査当局は「ジハーディ・ジョン」をエンワジ容疑者だとみていることを確認した。

同容疑者を過去に支援していたという英人権団体「ケージ」のアシム・クレシ氏によると、同容疑者はクウェート生まれで、6 歳の時に英国に渡った。ロンドン市内のウェストミンスター大学でコンピュータープログラムの学位を取得し、シリアに渡ったのは 2012 年ごろだという。

同団体は、テロ容疑で拘束されている人の支援などを行っている。クレシ氏はロンドンで記者会見を開き、エンワジ容疑者は優しくて思慮深い若者だったとコメント。同容疑者と覆面男が同一人物であるとの確証はないとした上で、いくつか「際立った類似点」はあると語った。

エンワジ容疑者は英情報局保安部 (MI 5) から、イスラム過激派アルシャバブに参加する意志があるとの疑いをかけられていたという。クレシ氏はまた、MI 5 が同容疑者を情報源として採用しようとしていたとも語ったが、詳細は差し控えた。

同団体によると、エンワジ容疑者は 2009 年 8 月、友人 2 人とサファリを楽しむために訪れたタンザニアで拘束され、オランダのアムステルダムで同情報当局と MI 5 から尋問を受けた後、英国に送還された。クウェートへの渡航は当局によって 3 度阻まれ、最終的には家族にも告げずに英国を出国したという。

シリアに入国したとの情報を警察から知らされた家族は、同容疑者がトルコで支援活動をしていると思っていたという。

ロイターは同団体の説明についての真偽を確認できていない。

エンワジ容疑者は同団体にメールで、「保安当局によって生まれ故郷のクウェートで新たな生活を送ることを妨げられている」とし、「ロンドンというおりにとらわれた囚人のように感じる」とも語っていたという。

MI 5 は、この件についてコメントしていない。また英政府と警察当局は、現在捜査中の事案であるとし、同容疑者の身元を認めることも否定することも差し控えている。

<http://jp.reuters.com/article/jp-islamicst/idJPKBNOLV06J20150227?rpc=188&sp=true>

○ イスラム国が「教育を受けた女性を処刑」、国連が警鐘
2015 年 01 月 21 日 10:17 発信地：ジュネーブ/スイス

【1 月 21 日 AFP】国連 (UN) 人権高等弁務官事務所 (OHCHR) は 20 日、イスラム教スンニ (Sunni) 派の過激派組織「イスラム国 (Islamic State, IS)」がイラクの支配地域で多数の民間

人を「処刑」しており、特に教育を受けた女性とその標的となっている恐れがあると警鐘を鳴らした。

イラクとその隣国で内戦下にあるシリアの広範囲を支配しているイスラム国は先週、強盗をはたらいたとして「はりつけの刑」に処した男性 2 人の写真や、姦通を理由に投石で殺害された女性の写真を公開していた。

OHCHR のラビナ・シャムダサニ (Ravina Shamdasani) 報道官は記者らに対し、イスラム国支配地域ではさらに多数の女性が「処刑」されているとの情報があり、「教育を受け、専門職に就く女性、特に公職の選挙に立候補したような女性が危険にさらされている」「今年に入ってから最初の 2 週間だけで 3 人の女性弁護士が処刑されたとの情報がある」と述べた。

同報道官によると、イスラム国はまた、イラク北部モスル (Mosul) の「裁判所」で同性愛行為の罪に問われた男性 2 人を建物の屋上から投げ落とし殺害するなど、少数派を標的にした残虐行為を繰り返している他、最近ではイスラム国戦闘員の治療を拒否した医師 4 人をモスルで殺害したという。

群衆の前での「公開処刑」も繰り返されており、今月 1 日にはファルージャ (Fallujah) でイラクの治安部隊に協力したとして 15 人が、ティクリット (Tikrit) 北郊でイスラム国への忠誠を拒否したとして 14 人がこの方法で殺害されたと同報道官は指摘した。(c)AFP

<http://www.afpbb.com/articles/-/3037153>

○ テロの犠牲者 3 万人超に 「イスラム国」台頭で過去最悪に 昨年 1～9 月 米国家情報長官証言

【ワシントン＝加納宏幸】米情報機関を統括するクラッパー米国家情報長官は 26 日、イスラム教スンニ派過激組織「イスラム国」などによるテロ攻撃が活発化したことで、2014 年 1～9 月のテロで約 3 万 1 千人が死亡したとする推計値を明らかにした。13 年の約 2 万 2 千人を 9 カ月間で 4 割ほど上回り、データを集計している過去 45 年間で最高になった。上院軍事委員会の公聴会で証言した。

クラッパー氏は、世界でのテロに関する情報を収集・分析している米メリーランド大のデータに基づき現状を説明。テロ攻撃は 13 年の約 1 万 1 500 回から約 1 万 3 千回に増加。約半分はイラク、パキスタン、アフガニスタンで発生していた。「イスラム国」が他のテロ組織よりも多くの攻撃を実行した。

90 カ国以上から 2 万人以上のスンニ派外国人戦闘員がシリアに渡り、このうち少なくとも 1 万 3 600 人が過激主義者と関係があると指摘。欧米諸国からは 3 400 人以上がシリアやイラクに入り、数百人が欧州に戻ったと明らかにした。シリア入りを試みた米国人は約 180 人だという。

クラッパー氏は、米本土を狙ったテロは、外国で訓練を受けた組織の指示を受けたりしたテロリストの攻撃よりも、自国で過激組織の影響を受けた「ホームグロウン (自国育ち)」によるものとなる可能性が高いと指摘。「イスラム国」や国際テロ組織アルカーイダがリビアを訓練やテロの拠点として使っていると警鐘を鳴らした。

<http://www.sankei.com/world/news/150227/wor1502270008-n1>

[.html](#)

【中央アジア】 【南アジア】

○ インド新年度予算 国防費 7%増

2015.2.28 19:49 更新

インド政府が 28 日発表した 2015 会計年度予算案（15 年 4 月～16 年 3 月）によると、国防費は前年度当初予算案比 7・7%増の 2 兆 4 6 7 2 億ルピー（約 4 兆 7 8 0 0 億円）が計上された。

モディ政権は外国企業の投資促進に向けた「メイク・イン・インド（インドで物をつくろう）」政策を推進。ジャイトリー財務相は予算発表で、防衛分野でも同政策を進めながら、国内の防衛産業を強化する方針を示した。

税制面でジャイトリー氏は、日系企業などに関心が高い、税制を簡素化する物品サービス税を 16 年 4 月までに導入する方針を表明。法人税の引き下げも発表した。（共同）

<http://www.sankei.com/world/news/150228/wor1502280055-n1.html>

○ 中国との「係争地」と首都結ぶ初の直行列車運転 インド

2015.2.20 19:31 更新

【ニューデリー＝岩田智雄】インド北東部のアルナチャルプラデシュ州と首都ニューデリーを結ぶ初の直行列車が州創立記念日の 20 日、州都イタナガル近郊の駅を出発した。同州はインドが実効支配しているものの、中国も領有権を主張している。インドとしては実効支配を誇示し、中国を牽制（けんせい）する狙いがある。



モディ首相は、イタナガルで行われた記念日の式典に出席し、

【東南アジア】

○ ベトナム書記長が初訪米へ 中国との係争にらみ米越関係を強化 2015.2.27 20:16 更新

【シンガポール＝吉村英輝】ベトナム紙トイチュ（電子版）は 27 日までに、同国共産党トップのグエン・フー・チョン書記長が年内に訪米することをベトナム外務省が確認したと伝えた。1975 年のベトナム戦争終結後、同国最高指導者の訪米は初めて。日程は調整中だが、米越の国交正常化から 20 年となる 7 月が有力視されている。

ベトナムは南シナ海の領有権問題などで中国との関係が悪化するなか、米国から巡視船の提供を受けるなど米国に急接近している。中国への配慮からこれまで見合わせてきた書記長の訪米実現について同紙は、米越関係の強化に向けた「画期的な出来事」とする識者の談話を紹介した。

同紙はまた、オバマ米大統領が今秋に予定されるフィリピン

「貧弱な連結性が北東部の開発の遅れの最大の原因だ。この事業が連結性の向上に貢献するだろう」と述べて、北東部の開発に力を入れる考えを強調した。

列車は急行で、約 3 8 時間半かけて 2 1 0 0 キロ余りを走り、週 1 回往復する。アルナチャルプラデシュ州は大半の地域が山間部で、飛行機の定期便は就航していない。今回、州内の線路が整備され、直行列車の運行が可能になった。隣接のアッサム州グワハティとの間を結ぶ列車も運行する。

インド政府は、アルナチャルプラデシュ州内に新たな道路や監視施設を建設することも決めている。

<http://www.sankei.com/world/news/150220/wor1502200039-n1.html>

○ インド西部で日本センター設立 三菱商事などが資金援助

2015.1.11 01:17 更新

インド西部グジャラート州アーメダバードで、地元民間団体が日系企業の支援を受けて「日本情報研究センター」をつくり、10 日に設立式典が行われた。同州には日系企業の進出が相次いでおり、地元の市民に日本の情報を発信し、日本文化への理解を深める狙い。

日本語教育も実施し、住民の進出企業での雇用にもつなげたい考えた。設立を主導したのはグジャラート印日友好協会で、三菱商事などが資金支援をした。日本文化に興味を持ってもらおうと、書籍や雑誌、映像ソフトをそろえた図書コーナーも併設する。

友好協会のムケシュ・パテル代表は「日本の文化とビジネスの情報をワンストップで発信する」と話した。グジャラート州はインドのモディ首相がかつて州政府トップの州首相を務めていた。企業誘致を熱心に進めており、スズキやホンダなどが工場建設を決定、系列の部品メーカーの進出も続いている。（共同）

<http://www.sankei.com/world/news/150111/wor1501110014-n1.html>

でのアジア太平洋経済協力会議（APEC）首脳会議や、マレーシアでの東アジアサミットに合わせ、ベトナムを訪問する可能性があると伝えた。

オバマ氏は今月 23 日、駐米ベトナム大使と会談し、両国が交渉に参加する環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）での協力を呼びかけ、ベトナム訪問にも前向きな姿勢を見せている。

<http://www.sankei.com/world/news/150227/wor1502270034-n1.html>



インドネシア、海洋権

益保護へ中国船 2 隻拿捕 ベトナム船「爆破」も「ショック療法」

- [ベトナム紙、中越戦争 36 周年で異例の積極報道](#)
- [ベトナムが中国との係争地「南沙」に民間航空便、年内に計画策定](#)
- [中国船がベトナム漁船 3 隻襲撃 西沙諸島付近](#)
- [インドネシア、海洋権益保護へ中国船 2 隻拿捕 ベトナム船「爆破」も「ショック療法」](#)
- [中国船がベトナム漁船襲う 体当たり、放水、乗り移り船室破壊 南シナ海パラセル諸島近く](#)

• [中台の支配強化を批判 南沙諸島めぐりベトナム](#)
「日本からの支援で不法操業摘発強める」 インドネシア海洋担当相、中国への毅然対応も明言

- [「日本からの支援で不法操業摘発強める」 インドネシア海洋担当相、中国への毅然対応も明言](#)
- [「サンゴ密漁中国船団」日中首脳会談後「急減」の「やっぱり政治的」…今はゼロ、中国当局が帰港命令が](#)
- [中国の観光クルーズを警戒せよ…サンゴだけではない侵略の先兵](#)
- [中国の「不沈空母」構築に警戒強める米 南シナ海の環礁埋め立て](#)
- [フィリピン、ベトナム、マレーシア 「中国の脅威」で日本の安保見直しに期待](#)
- [対中国でタッグ？ フィリピン、ベトナム首脳が南シナ海問題協議](#)

<http://www.sankei.com/world/news/141214/wor1412140002-n1.html>

【東アジア】

○ 対北、日韓関係に影響力行使できるか注目 韓国大統領秘書室長に李前駐日大使 2015.2.27 20:13 更新

【ソウル＝藤本欣也】韓国大統領府は 27 日、辞意を表明していた金洪春（キム・ギチュン）大統領秘書室長（75）の後任に、前駐日大使の李丙（＝王へんに其）（イ・ビョンギ）国家情報院長（67）を起用する人事を発表した。李氏は朴槿恵（パク・クネ）大統領の側近の一人で、日本政府とのパイプも太く、日韓関係改善の契機となる可能性もある。

大統領府報道官は「国際関係と南北関係に明るく、政務能力とリーダーシップを備えている」と起用理由を説明。李氏は同日、「何度も辞退した」と明かす一方、「困難な状況で引き受けることになり、責任は極めて重い」と語った。

李氏はソウル生まれ。ソウル大卒の外交官出身。情報機関の国家安全企画部（現・国家情報院）第 2 次長などを歴任した。2012 年の大統領選ではシンクタンク、汝矣島（ヨイド）研究所の顧問として朴槿恵氏に政務などを助言。13 年の朴政権発足後は駐日大使、国家情報院長の要職を務めてきた。

聯合ニュースは、検察出身の金洪春氏と異なり外交問題で助言できる李氏が「政府の対北朝鮮、日韓関係に影響力を行使できるか注目される」と報じた。後任の国家情報院長には元国家安全企画部第 2 次長の李炳浩（ビョンホ）氏（74）が内定した。

<http://www.sankei.com/world/news/150227/wor1502270033-n1.html>

○ 中国の海面毎年 3 ミリ上昇 2015.2.28 18:05 更新

中国国家海洋局は 28 日、中国沿岸の平均海面が 1980 年以降、毎年平均約 3 ミリ上昇していると発表した。2014 年の海面は 1975～93 年の標準的な年の海面と比べて 111 ミリ上昇、前年比では 16 ミリ上昇したという。中国の通信社、中国新聞社が伝えた。

専門家は原因として地球温暖化のほか、著しい経済発展を遂げた沿岸部の都市で地下水のくみ上げや高層ビル群の建設などにより地盤が沈下したため陸地に対して海面が上昇したとしている。（共同）

<http://www.sankei.com/world/news/150228/wor1502280049-n1.html>

○ 中国・新疆で公安車両狙い爆弾テロか、11 人死亡 犯人の親族 20 人余拘束 2015.2.20 13:11 更新

米政府系放送局ラジオ自由アジアは 20 日までに、中国新疆ウイグル自治区のカシュガル地区カルギリク県でこのほど、ウイグル族の青年 4 人が爆発物を使って公安車両を襲い、4 人を含む 11 人が死亡したと報じた。公安当局は 4 人の親族 20 人余りを拘束したという。

また同ラジオによると、同自治区のホータン地区カラカシュ県で 16 日にウイグル族の青年が武装警察隊員から殴る蹴るの暴行を受け、刃物で抵抗したところ射殺された。公式メディアはこれらの事件を伝えていない。

ホータン地区では 13 日にもウイグル族の青年が爆発装置で警察官を襲い、多数が死亡したと伝えられている。同自治区で民族対立を背景に、ウイグル族住民と当局の緊張が高まっている可能性がある。（共同）

<http://www.sankei.com/world/news/150220/wor1502200019-n1.html>

【愛川町マーケティング室、行政推進課、企画政策課と愛川町のまちづくりで懇談】

愛川町のまちづくりで、上記関係課と話し合いました。まちづくりネットワーク愛川の申し入れで行われた。初めに、まちづくりの考え方について諏訪部勲代表が質問したが、第 5 次都市総合開発計画の後半の議論がこれから始まるという説明があったのみで、明示されなかったので、私は兼ねての提案の一端を説明した。その中で、まちづくりは地域の特色を表現する文化が大事で、この地域は東丹沢東端に位置し、東丹沢が氷源地域であること、地域史としては、歴史文化的特色を踏まえた、日本のほかにないメッセージを込めることが必要として、「良弁」という人を知っているかと質問した。誰も知らないようであったが、下記のように説明した。

一東丹沢を歴史上初めてコンセプトのある地域として把握、氷源地域の表象である弥勒浄土：兜率天として開発した。奈良時代に東大寺の初代別当となり大仏開眼法要を行った 752 年、聖武天皇に帰郷願いを出し、大山を中心とした山々を弥勒浄土（弥勒菩薩が釈迦の教えを説くところ）を構想して良弁自ら開山した。秦野市北矢名漆久保が良弁の生地だった。そこから来た 7 キロが大山。大山寺の初代住職が良弁、二代目住職が、良弁と一緒に寄進を募り大仏鑄造に貢献した行基の弟子光増、三代目住職があゝの空海であった。全て東大寺人脈だった。東丹沢の山名には、密教初め大乘仏教所縁の地名が多い。弥勒浄土：兜率天は、仏教の発祥地北インドのヒマラヤにある須弥山のいただき高くに聳え、弥勒が下生を待ち、釈迦入滅後 56 億 7 千万年後に地上に現われ人類【県観光文化フォーラムでも発言】

私は、愛川町行政三課（室）との懇談の後、神奈川県県央事務所の主催で開催された観光フォーラムにも参加し、広域行政として東丹沢の観光文化振興に取り組むことが重要と指摘し、上記のように東丹沢を最初に開発したのが秦野市生まれの良弁であったと話し、東丹沢が相模の国の水源であることが東丹沢の歴史文化的特色と結びついており、アジアの時代、自然との共生の時代にちえる、アジアとつながる観光文化のまちづくりがこの地域の地方創世につながると発言した。

◎ アジアンレポート拡充のためボランティアスタッフを募集します。お問い合わせください。

◎ ニュースレターへの感想をお願いします。

◎ レター掲載原稿を募集します。

を救済することになっている。太陽も水もその山から現われるという、牧民の世界観を源流としている。特に、東丹沢は、ガンジス川とヤムナー川の合流点：サンガムで、地下の川（水脈洞穴：サラスヴァティ：弁才天）が合流する三川合流点となっているが、東丹沢から流れ出る相模川、中津川、小鮎川の三川合流点（厚木市）でも、中津川には地下洞窟が東丹沢東端の塩川滝まで続いており、江の島の弁財天が歩いたという伝説が残る。そのすぐ南に国分寺、国分尼寺があって、北インドに瓜二つの聖地伝承が存在し、北インドのヒマラヤと東丹沢が氷源を髣髴させる世界観が反映されている。良弁が、ヒマラヤにある聖地を東丹沢に引き寄せた形となっている。愛川町の八菅神社（旧光勝寺）にある八菅神社を出発点とする大山までの修験道は、国分寺、国分尼寺の尼僧が弥勒浄土へ分け入る道だった。命の水をもたらす聖地：水源への信仰が、東丹沢の弥勒浄土の核心となっている。

まちづくりのビジョンやコンセプトは、地域の自然や歴史文化的特色を生かしたグランドデザインを基に自ずから生まれるもので、私は 10 年前「ホッとする空間」と題した 22 ページのグランドデザインを発表し、第 5 次都市総合計画にも愛川町民で唯一パブリックコメントを出しているが、町側は無視している状態が続いている。私は、三課（室）との懇談で「いつ私の提案をピックアップしていただけるか注視してます」と伝えた。

発行：特定非営利活動法人ユーラシアンクラブ 発行人：江藤セデカ
住所：〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 1-11-5 TEL：03-5376-9343
支部愛川サライ 〒243-0303 神奈川県愛甲郡愛川町中津 6314-1
TEL：046-285-4895 FAX：046-265-0167 E-MAIL：paf02266@nifty.ne.jp
郵便振替：00190-7-87777 ユーラシアンクラブ お振込の場合：ゆうちょ銀行〇一九店 当座預金 0087777 ユーラシアンクラブ 会費、ご寄付はこちらへ。会費は正会員年間 1 口 3,000 円、学生会員 1,000 円、賛同会員 2,000 円。一口以上のご協力をお願い申し上げます。

<http://eurasianclub.org/>

2015 0301 Non Profit Organization Eurasian Club

編集後記：円安以上の大変なルーブル安の経済危機にも関わらずサハ共和国の子どもたちが 13 人、ハトラエフ夫妻と共にやって来る。サハの伝統音楽再生にかけた夫妻の情熱がどれほどサハで支持されているか知れる。たった 4 日間の研修期間。時間が大切だ。日本の思い出作りも子どもたちにとっては意味がある。それこそ心からのおもてなしが必要。5 月には、子どもたちの親の指導に赤川猛さん（愛川高校和太鼓部創設者）、女子の指導に悟空代表浅野香さんがヤクーツクに行く。そして今年は夏にもテティム第二陣がやってくる。大変なことだ。5 月 21 日オープニングの「岩に刻まれた古代美術」展も日本橋三越の「アジア・シルクロードウィーク」もある（お）